

主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値※）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データを基に、『日本・アジア / 米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

主要航路の荷動きのポイント

北米航路 往航（2021年2月）1,482,231TEU（23.4%増）（2020年2月：1,200,965TEU）

・《**昨年の反動もあり、前年比23.4%増。2月単月で最高。**》

復航（2020年12月）515,719TEU（4.0%減）（2019年12月：537,379TEU）

・《**2020年累計では、前年比5.3%減の650万TEU。**》

■ 北米往航（アジアから米国）は、前年比23.4%増で8か月連続のプラス。2021年2月の中国（塩田）-ニューヨーク間の運賃は前年比129.6%増の5,350ドル/TEUで10か月連続のプラス。

■ 北米復航（米国からアジア）は、前年比4.0%減で、2か月振りのマイナス。2021年2月のニューヨーク-中国（塩田）間の運賃は前年比16.3%増の930ドル/TEUで10か月連続のプラス。

欧州航路 往航（2021年1月）1,473,176TEU（4.9%減）（2020年1月：1,549,674TEU）

復航（2021年1月）608,938TEU（3.3%減）（2020年1月：629,848TEU）

■ 欧州往航（アジアから欧州）は前年比4.9%減で2か月連続のマイナス。2021年2月の中国（塩田）-英国（フェリックストウ）間の運賃は前年比299.2%増の4,990ドル/TEUで9か月連続のプラス。

■ 欧州復航（欧州からアジア）は前年比3.3%減で3か月振りのマイナス。2021年2月の英国（フェリックストウ）-中国（塩田）間の運賃は前年比51.0%増の1,480ドル/TEUで15か月連続のプラス。

日中航路 往航（2021年1月）655,517トン（23.5%増）（2020年1月：530,644トン）

復航（2021年1月）1,701,125トン（15.9%減）（2020年1月：2,022,172トン）

■ 日中往航（日本から中国）は、前年比23.5%増で7か月連続のプラス。金額ベースでは前年比35.9%増の6,239億円で2か月連続のプラス。2021年2月の横浜-上海間の運賃は前年比48.9%増の700ドル/TEUで3か月連続のプラス。

■ 日中復航（中国から日本）は、前年比15.9%減で9か月連続のマイナス。金額ベースでは前年比12.4%増の1兆1,115億円で2か月振りのマイナス。2021年2月の上海-横浜間の運賃は前年比51.6%増の970ドル/TEUで12か月連続のプラス。

アジア域内航路 （2021年1月）3,423,523TEU（3.4%増）（2020年1月：3,310,892TEU）

■ CTS社による集計では、前年比3.4%増となる342万TEUで8か月連続のプラス。2021年2月のアジア域内コンテナ運賃指数（US\$/FEU）は前年比73.8%増の1,512ドル/FEUで7か月連続のプラス。

注1：速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2：日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3：運賃指数はDrewry, *Container Freight Rate Insight*に基づく

図 - 1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

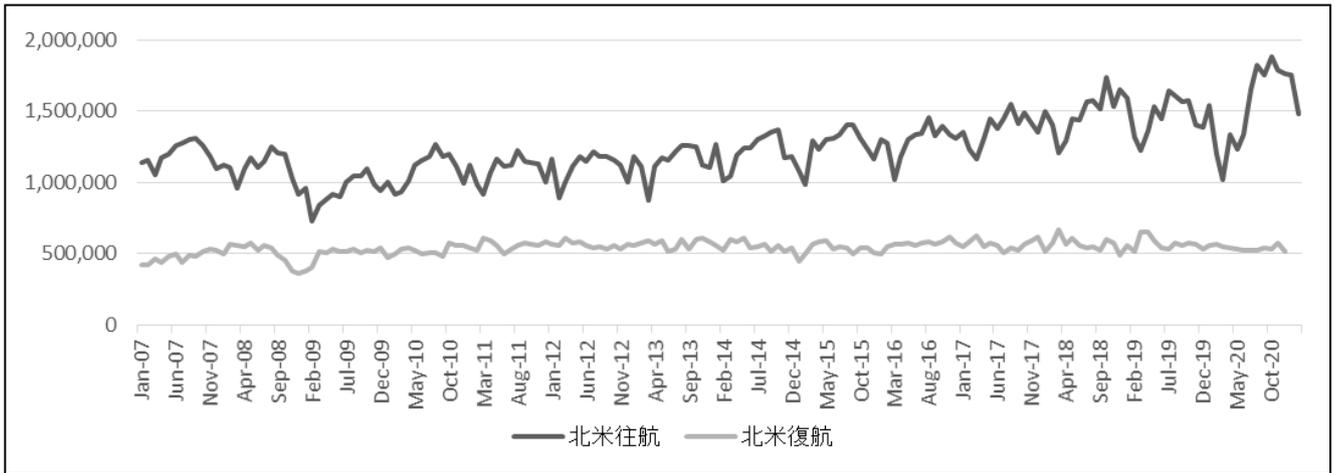


図 - 2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

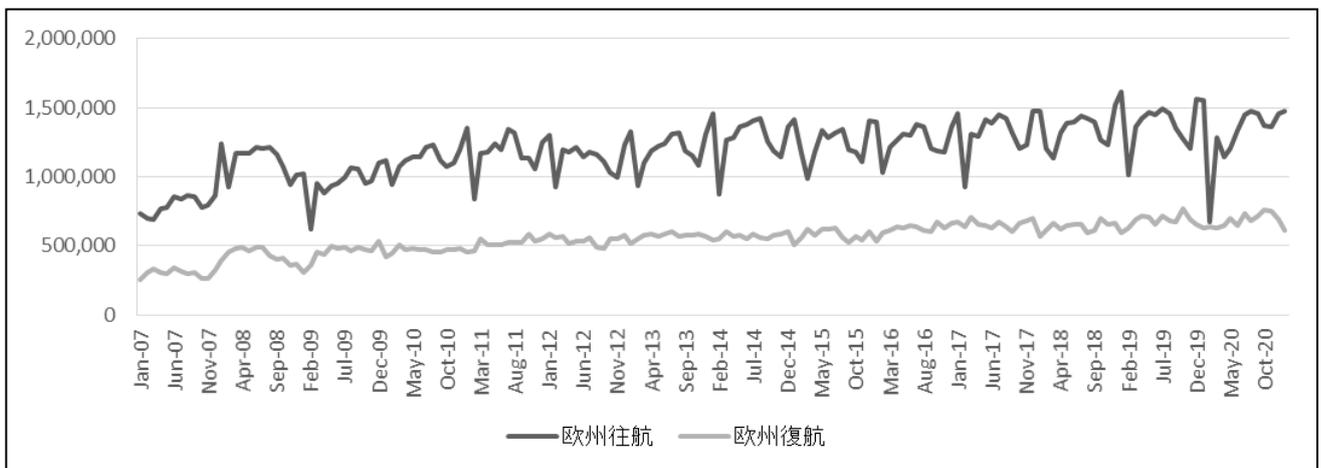


図 - 3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: トン)

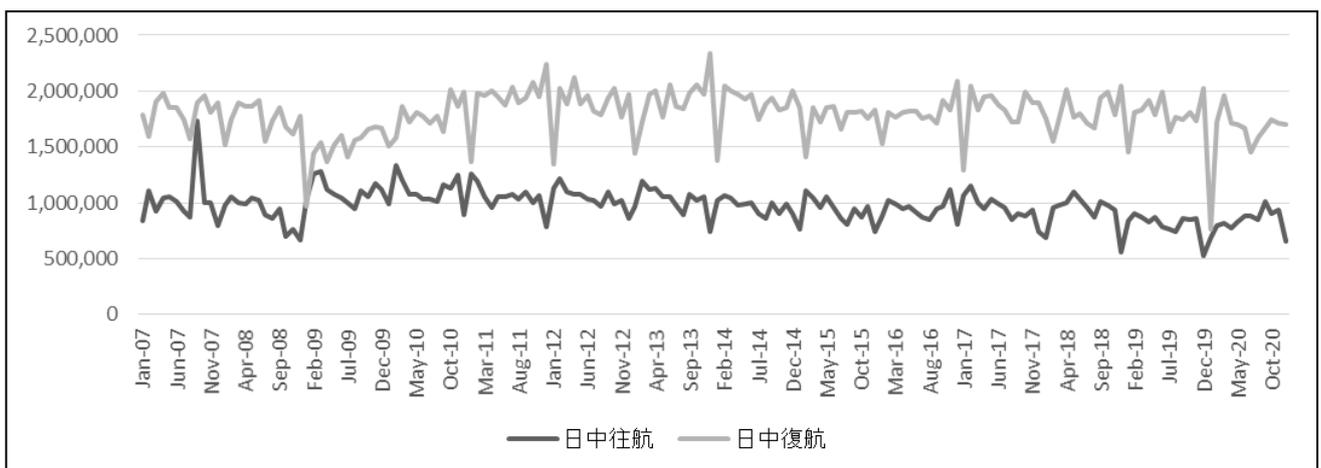


図 - 4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位 : TEU)

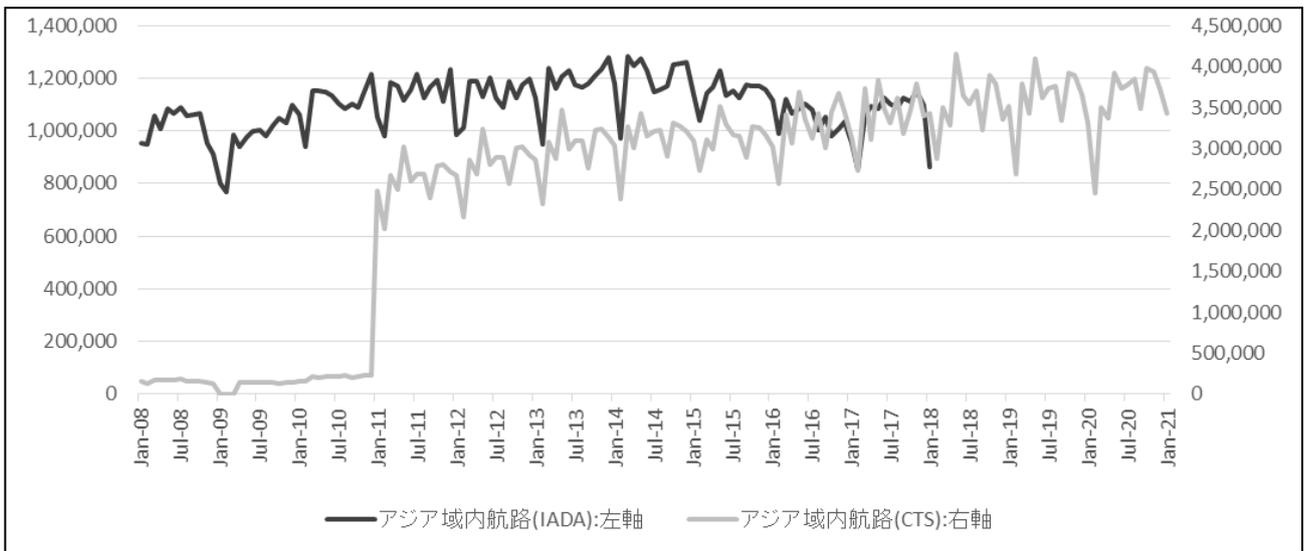


図 - 5 北米航路における運賃指数の推移 (単位 : ドル/TEU)

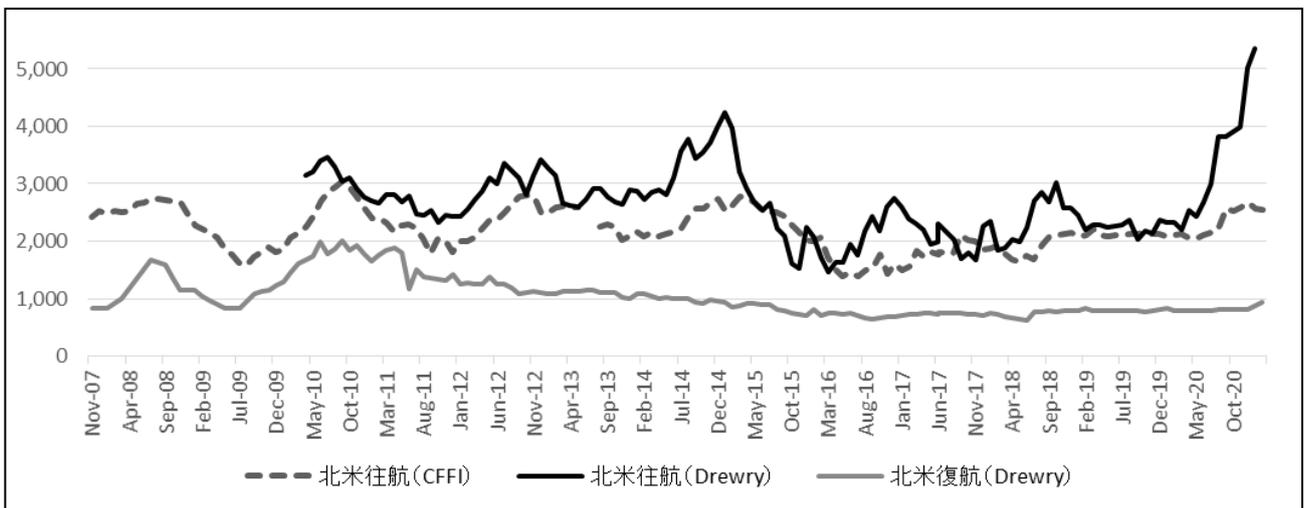


図 - 6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位 : ドル/TEU)

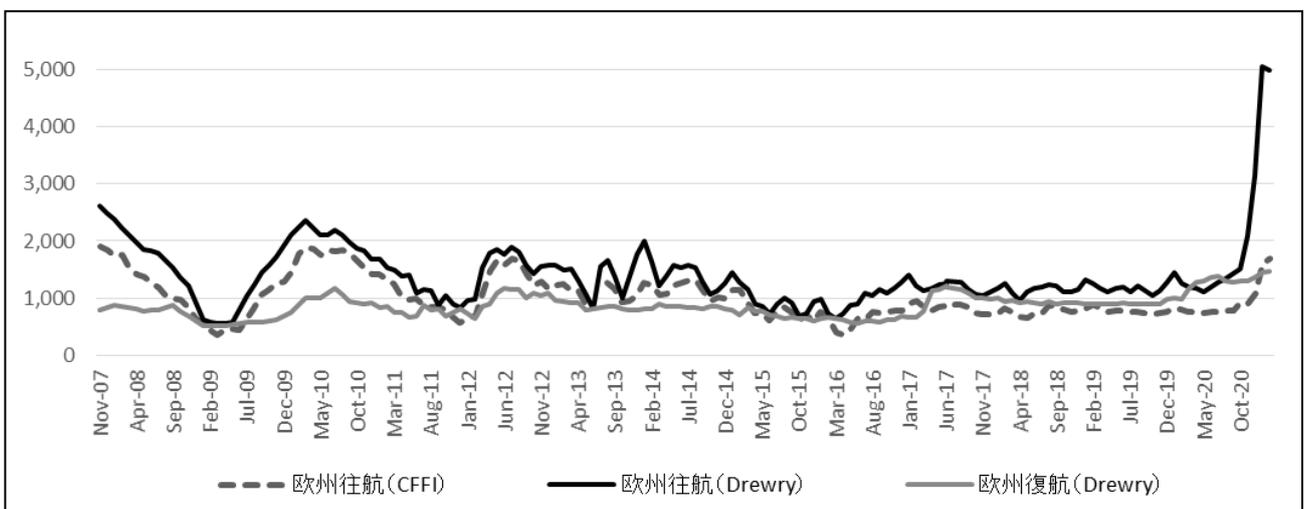
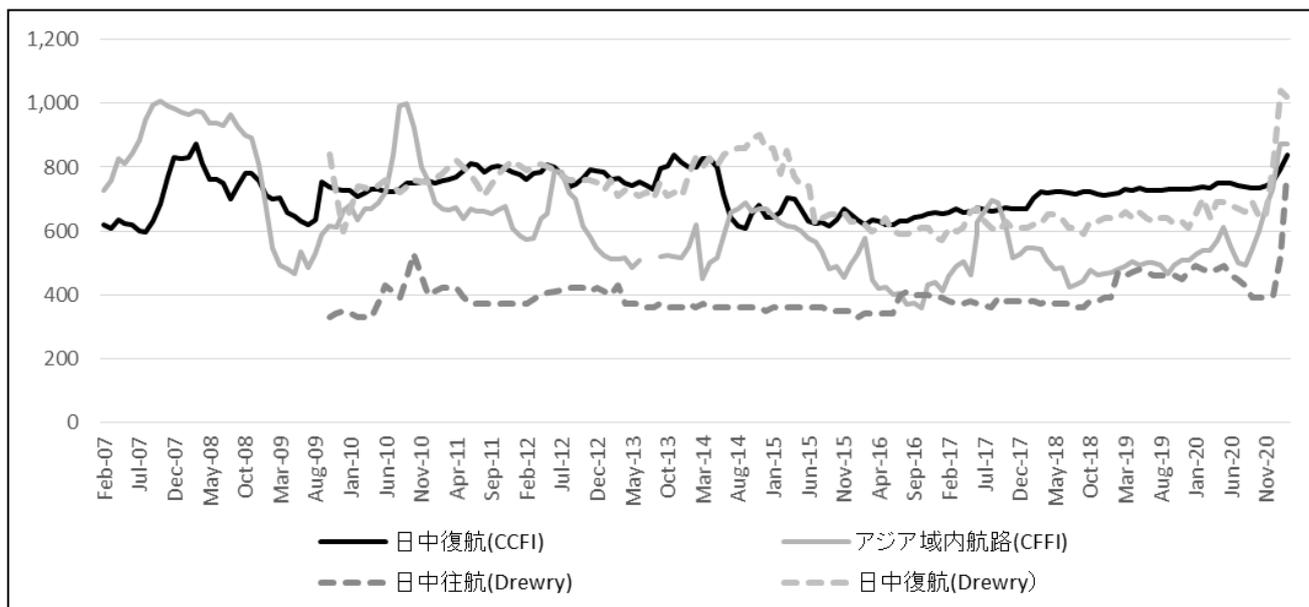


図 - 7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移 (単位 : 指数 (CCFI)、ドル/TEU (その他))



(参考) 輸送量・運賃データの出所

1.北米航路輸送量

- ・ PIERS (Port Import/Export Reporting Service) データ

2.欧州航路輸送量

- ・ Container Trade Statistics Ltd.

3.アジア域内航路輸送量

- ・ IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd. (CTS 社)

4.日中航路輸送量 (トンベース)

- ・ (公財) 日本海事センター企画研究部 (注 : 財務省貿易統計に基づきトンベースで推計)

5.北米航路、欧州航路運賃指数 (往航では (CI,Drewry) と示した列、復航)

- ・ Drewry “Container Freight Rate Insight” : 南中国 (塩田) と米国東岸 (ニューヨーク)、英国 (フェリックストウ) 間の運賃

6.北米航路、欧州航路運賃指数 ((CCFI) と示した列)

- ・ 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>

7.アジア域内航路運賃指数 (毎月)

- ・ 中国国際海運網ウェブサイト (中国・東南アジア間航路の運賃指数)
- ・ Drewry “Container Freight Rate Insight” : Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)

8.日中航路運賃指数

- ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly“ (上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数 ((CCFI) と示した列))
- ・ **Drewry “Container Freight Rate Insight” (中国 (上海) と東京/横浜間の運賃) : 2014 年 4 月発表の資料より変更**

9.BDI (バルチック海運指数)

- ・ Clarkson Research “Shipping Intelligence Network”

10.円ドルレート

- ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>